

八幡神社所蔵中世文書

* 概ね1615年ころまでと思われるもの

	年月日	西暦	文書名(差し出し人)	受け取り人	形状	縦(cm)	横(cm)
1	(天正年間)6月6日	1580年代	香川春継・粟屋就光・桂春 房連署書状	(内藤)菅兵衛	折紙	26.3	39.0
2	年不詳7月20日	・	某連署書状	宇田川彦三郎 佐々木源左衛門	折紙	26.9	41.3
3	年不詳12月28日	・	友松六左衛門書状	民田市左衛門 安西八兵衛	折紙	35.5	48.5
4	慶長13年7月7日	1608年	吉田家神道裁許状	内藤近江守縄広	縦紙	34.0	45.5
5	慶長17年8月2日	1612年	吉田(兼治カ)直状	内藤近江守(縄広カ)	折紙	33.6	49.7
6	年月日不明	・	某書状	・	切紙	18.8	40.0

(作成者： 県史編さん室 岡村吉彦)

八幡〇二 吉川奉行人連署書狀（折紙）

以上

其方申之通承知之候、乍更何之条茂無案内候間、於爰元不相成候、御帰朝之上者、以存知之衆、相尋無支候ハ、随分申伺可調進候、恐々謹言、

六月二日

（香川春繼）

香又

（花押）

（粟屋就光）

粟彦

（花押）

（桂春房）

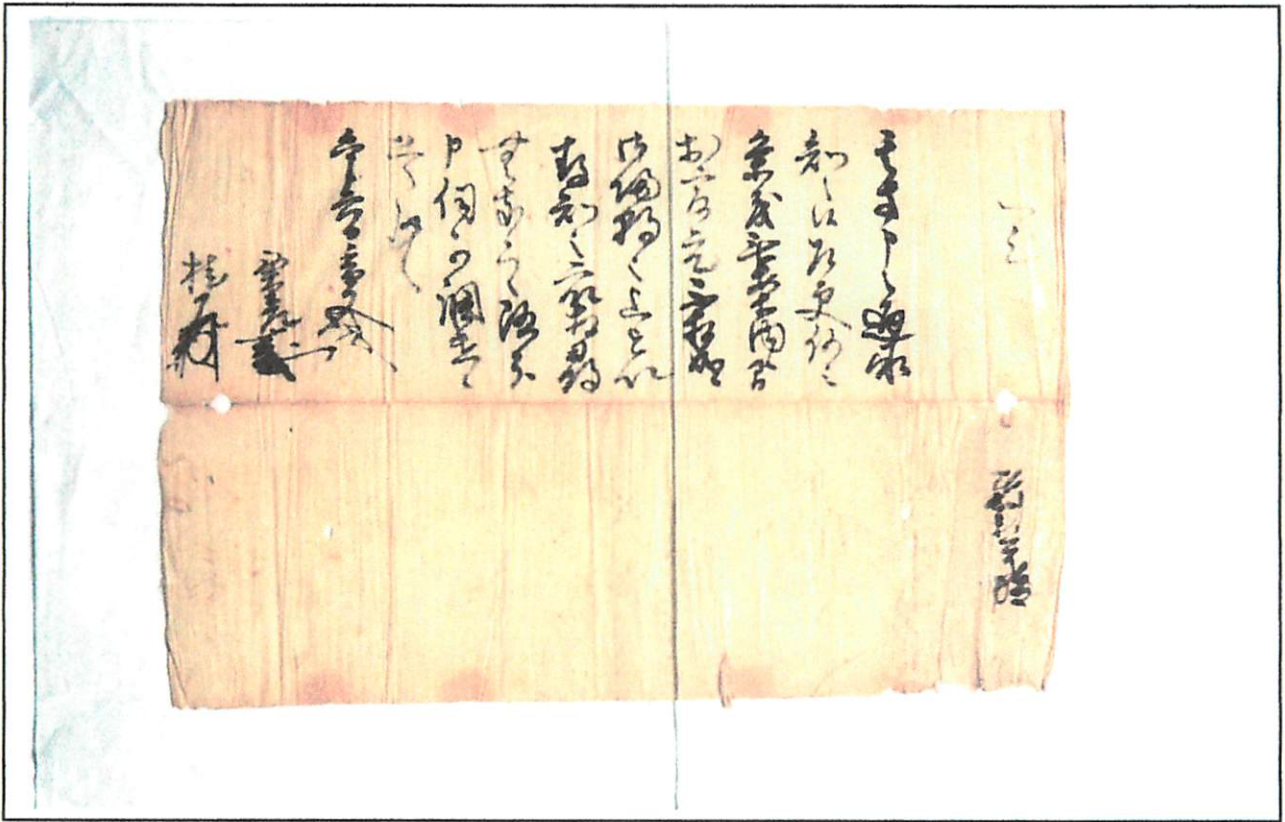
桂左

（花押）

（内藤）

菅兵衛殿

（九）



八幡〇〇 某連署書状（折紙）

以上

官兵衛事、御用之時被召出候、いかにも自分二不成候由候間、罷出候時ハ、馬舟之儀可申付候、恐々謹言、

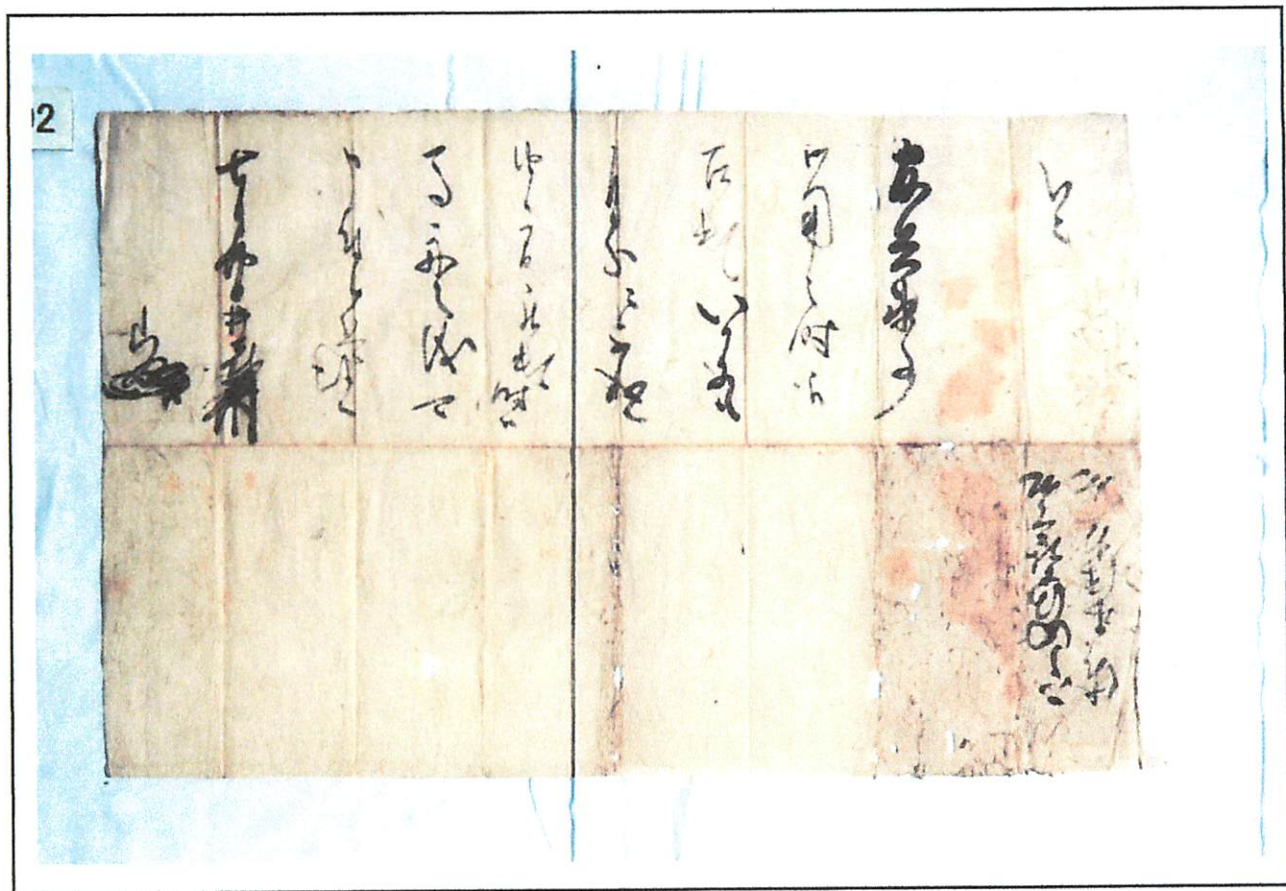
七月廿日

井喜（花押）

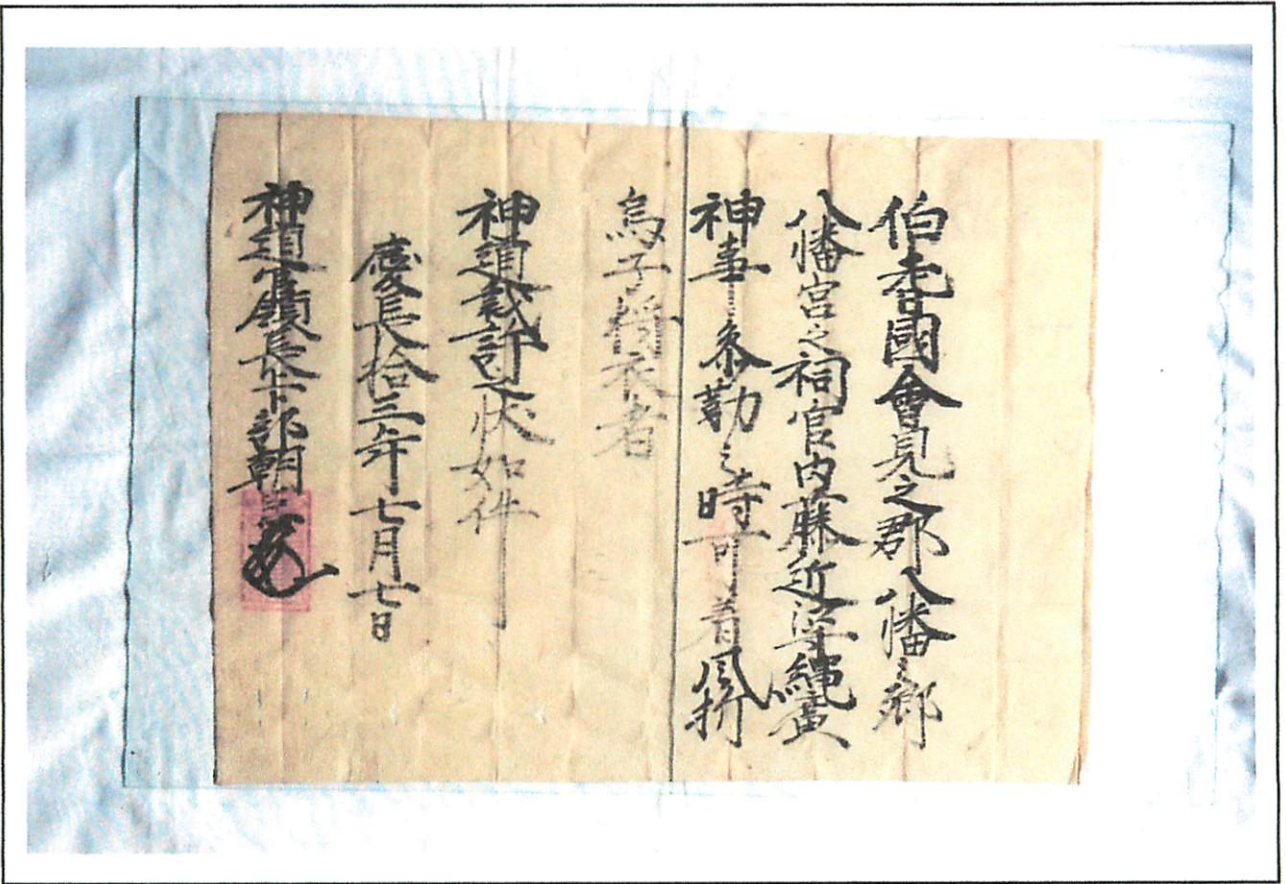
山又（花押）

宇田川喜三郎殿

佐々木源左衛門殿



八幡04 吉田家神道裁許状



伯耆国会見之郡八幡之郷

八幡宮之祠官内藤近江守繩広

神事参勤之時、可着風折

烏子狩衣者

神道裁許之状如件

慶長拾三年七月七日

(吉田兼見カ)

神道官領長上卜部朝臣 (花押)

今、乃、上、洛、令、
 對、面、候、社、家、衆、其、甲、許、取、候、由、申、候、者、裁、許、狀、
 其、甲、許、取、候、他、
 中、是、裁、許、狀、外、
 能、見、撰、候、と、
 社、家、候、法、度、背、
 相、候、と、急、度、申、付、許、
 許、取、候、中、在、候、者、
 中、是、裁、許、狀、外、
 唐、字、高、
 八、月、二、日、
 内、藤、近、江、守、殿

八幡 05 吉田兼治 (カ) 直状 (折紙)

今度上洛令対面候、社家衆其甲許取候由申候者、裁許状
など能々見撰候上、社家之法度背相候者、急度申付許取
候衆申合付言申間敷者也、

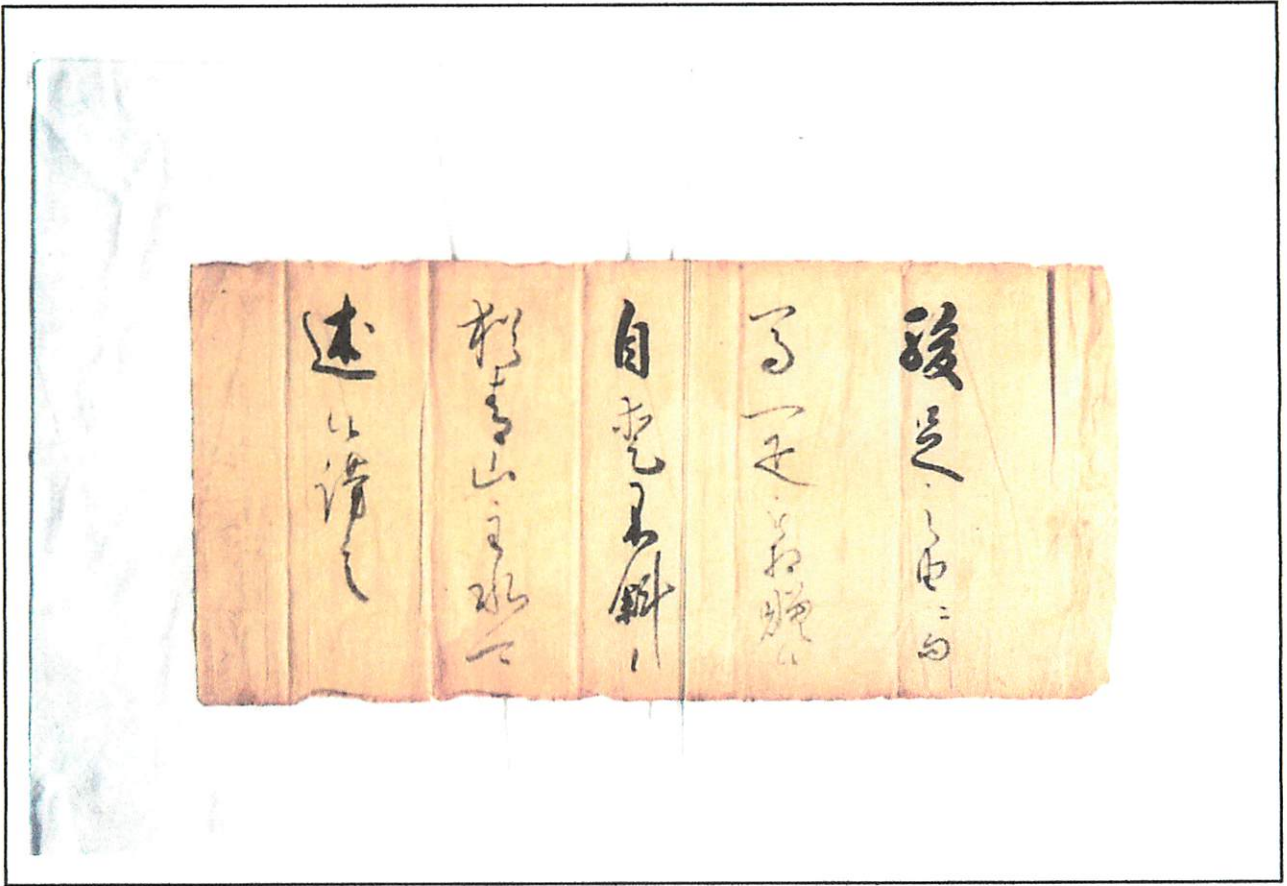
(慶長十七年)
慶十七

(兼治カ)
吉田

八月二日

(花押)

内藤近江守殿
(繩広カ)



八幡の 某書状 (切紙)

駿足之由二而、馬一疋被相贈候、自愛不斜候、猶青山主
水可述候、謹言、